



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(平成31年)1月15日号 No.1781

目次

| | |
|------------------------------------|---------|
| ■ ロシア経済は悲観論を払拭できるか | 服部 倫卓 1 |
| ■ 統計速報 | 16 |
| 2018年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／16 | |
| 2018年1～11月の日ロ貿易／17 | |
| ■ エトセトラ | 18 |
| 月例報告会「ロシアビジネス契約」／18 | |
| ■ キーパーソン | 18 |
| カザフスタンで投資・発展省が改組／18 | |
| カザフスタンで外相および軍需・産業大臣が交代／19 | |
| ■ トピックス | 20 |
| 北海道総合商事がロシア野菜生産に追加出資／20 | |
| 北海道総合商事がヤクーツク空港改修に参画／20 | |
| 西部ガスがLNG輸送で露ノヴァテクと連携／20 | |
| ANA、モスクワおよびウラジオストク便就航へ／20 | |

ロシア経済は悲観論を払拭できるか

ロシアNIS経済研究所 副所長

服部 倫卓

はじめに

本稿では、2019年の年頭に当たって、2018年のロシア経済を振り返りながらその実情を探り、さらに2019年以降の展望を試みる。

以下で見ていくように、現時点で、ロシアの専門家の間では、ロシア経済についての悲観論が強まっている。その悲観論とは、どのようなものなのだろうか。そしてプーチン政権は今後の経済発展の道筋をどのように描いているのか。以下では、現地有識者の分析やコメントを紹介しつつ、また図表も活用しながら、ロシア経済を概観していく。

断片的には好材料もあるが…

2018年暮れ、ノヴォオスチ通信は、2018年にロシアが達成した10の記録的な経済成果という記事を配信した¹⁾。その内容を整理すれば、以下のとおりである。

1. 2018年にロシア中銀は92.2tという金準備を積み上げ、世界最大の金準備保有国となっている。ロシアの金準備は2,000tを超え、金・外貨準備に占める金の比率は18%に達した。